# 平成30年度 岩内西小学校研究全体構造図

- ○日本国憲法
- ○教育基本法
- ○学校教育法
- ○学習指導要領
- ○北海道

教育推進計画

- ○後志管内
  - 教育推進の重点
- ○岩内町教育目標

# 各分掌間の連携

- ○教務部教育課程教科時数
- ○生徒指導部 学習規律
- ○美化環境 教室掲示等

# 学校教育目標 伸びる喜びをみつけよう

学ぶよろこび(知) 助け合うよろこび(徳) やりぬくよろこび(体)

# 重点目標

- ○かしこく 【知】 ⇒『基礎基本の確実な定着と学習習慣の育成』
- ○やさしく 【徳】 ⇒『相手を大切にする挨拶や言葉遣いの定着』
- ○たくましく【体】 ⇒『進んで体を鍛え最後までやりぬく子の育成』
- ○しんらい 【信】 ⇒『信頼を基盤にした学級経営と保護者連携の充実』

# 本年度の具体的な取組

- ○学ぶ意欲と基礎基本の定着を基盤とした確かな学力の向上
- ○思いやりがあり心身ともに健全な子どもの育成
- ○保護者・地域に信頼される学校づくり
- ○協働体制の確立と次期学習指導要領実施に向けての準備

研究主題

自ら学び、自分の考えや思いを表現できる子の育成

~算数科における思考力、判断力、表現力等を育む学習指導の工夫を通して

# ○保護者の願い○教師の願い

○社会情勢

○地域の実態

○児童の実態

○発達段階

# 研究機関との 連携

- ○後志教育局
- ○後志教育研修 センター
- ○後教研
- ○町教研
- 地域との連携
- ○人的活用

# 研究仮説1

教師が、アウトプット(書く・話す・話し合う) の活動内容を豊かにすることで、主体的な学習を 進めることができる。

# 研究仮説2

ノートづくりをベースとして、発達段階に即した表現をすることで、確かな思考力、判断力、表現力を育むことができる。

#### 目指す子ども像①

自ら考え、生き生きと主体的に授業に参加する子

#### 目指す子ども像②

ノートなどを思考の場として活用し、豊かな表現ができる子

## 研究の視点1

## <指導言>

- ・説明・指示・発問の区別
- <評価言>
- フォローの技術

#### 研究の視点2

<板書・ノート>

- 思考の流れが分かる板書・ノート作り等の工夫
- <表現方法>
- ・ 自分の考えをわかりやすく伝える方法の選択と、効果的な活用

# 研究基盤

- ・ 基礎基本の定着(習熟の時間の設定、西小「そろえる活動」)
- 信頼関係の構築(教師、児童間)
- ・ 日常的な授業改善(日常授業で生かせる実践の蓄積)
- 参加率の向上(指名の仕方、ペア学習)

# 年間計画 校内研修 般研修 校外研修 主題研究 • 実技研修 研究会等の参加 •指導案検討 講師の依頼、派遣 • 外国語 交流授業 • 特別支援教育 • 資料収集 公開研究会 道徳 • 仮説検証 • 体力向上

#### 研究組織 研究推進委員会 全体研修 ・研修の方向性 • 研究推進 •授業研究 ・横断的な課題 • 実技研修 低学年 中学年 高学年 特別支援 ブロック ブロック ブロック ブロック 公開授業 公開授業 公開授業 公開授業 授業交流 授業交流 授業交流 授業交流